

平成 30 年 6 月 22 日  
住宅局住宅生産課

## 紙オムツと汚物を分離・処理する新技術を実証！ ～介護負担軽減に向け、高齢者施設で実証実験～

国土交通省は、先導的な技術の普及啓発に寄与する「次世代住宅プロジェクト 2018」※を決定しました。

採択された者は、「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」でとりまとめた 3 タイプのうち、紙オムツと汚物を分離し、オムツは回収・汚物は下水へ流す「固形物分離タイプ」が介護負担軽減に寄与するか、本年度から実証を開始します。

※平成 30 年度サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）に採択されたプロジェクトの略称

- 平成 30 年度サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）の第 1 回公募を平成 30 年 4 月 2 日（月）から 5 月 11 日（金）まで実施した結果、3 事業者（4 件の取組テーマ）から応募がありました。
- 今般、学識経験者からなる評価委員会による評価結果（別添）を踏まえ、下表のとおり、以下のプロジェクトを採択プロジェクトとして決定しました。

代表提案者	プロジェクト名	取組テーマ
パナソニック株式会社	分離型紙オムツ処理による介護負担低減	⑦ その他(宅内オムツ処理による介護負担低減)

（今後の予定）

第 2 回公募（平成 30 年 7 月 2 日（月）～ 7 月 31 日（火））を実施予定

※「平成 30 年度サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）」とは、住宅（住宅設備機器を含む）において、IoT 技術等を活用して、次に掲げるテーマに該当する住宅・サービスを実現しようとして、実用化に向けた課題・効果等の実証を行うプロジェクトの整備費の一部を支援するものです。

- ① 高齢者・障がい者等の自立支援
- ② 健康管理の支援
- ③ 防犯対策の充実
- ④ 家事負担の軽減、時間短縮
- ⑤ コミュニティの維持・形成
- ⑥ 物流効率化への貢献
- ⑦ その他

（参考）

過去の採択プロジェクト一覧は下記のページより確認できます。

<http://project.nikkeibp.co.jp/jisedaij/entry/>

<問い合わせ先>

国土交通省住宅局住宅生産課

住宅ストック活用・リフォーム推進官 村上 慶裕 係長 野口 雄史

電話：03-5253-8111(内線 39-463、39-428)

FAX：03-5253-1629